



審査結果報告書

2024年9月2日

主査 氏名 隈元雄介 

副査 氏名 狩野有作 

副査 氏名 天野英樹 

副査 氏名 原寛樹 

1. 申請者氏名 : 石崎 純郎
2. 論文テーマ : Effectiveness of Endoscopic Ultrasound-guided Tissue Acquisition with Stereomicroscopic On-site Evaluation for Preoperative Diagnosis of Resectable or Borderline Resectable Pancreatic Cancer
(切除可能膵癌および切除可能境界膵癌に対するEUS-TAによる術前診断における実体顕微鏡を用いた迅速評価の有用性の検証)
3. 論文審査結果 :

近年、膵臓癌では術前抗がん剤治療が予後改善に寄与することが明らかになり、膵臓癌に対する術前病理組織診断の重要性が増している。一方、組織診断で用いるEUS-FNA(超音波内視鏡下穿刺細胞診)は癌細胞の播種の危険性を孕んでいるため穿刺回数を最小化する必要がある。先行研究にて、切除不能膵癌を対象に実体顕微鏡を用いて採取検体の適正性を診断するSOSE(stereomicroscopic on-site evaluation)の有用性は明らかにされているが、本研究では切除可能・切除境界膵癌を対象に、より腫瘍径の小さな集団に対する有用性を前向き研究として検討した。手技的なバイアスを排除し再現性が期待できる点、病理医がいない環境下でも行える点、SOSEにて11ミリ以上の白色検体を確保した場合の悪性診断感度が90.4%であったことは実臨床で許容できる値であることなど臨床的に汎用性の高い意義のある論文である。プレゼンテーションでは、背景、目的、結果、考察を分かりやすく発表され、審査委員からの質問に対しても的確に返答していた。以上、全員一致で学位取得に十分な業績と判断した。